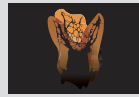


CONTENTS

はじめに	2
推薦の言葉／水上哲也	3

第1章 天然歯を永続させるために



1-1 歯内療法

a. 基本的な治療の重要性；歯の解剖学的形態の理解とエックス線による診査・診断	9	f. マイクロスコープと超音波ファイルによる破折ファイルの除去	18
b. 当院における歯内療法	11	g. 下顎大白歯根尖付近の破折ファイルを除去した症例	19
c. 当院における歯内療法令例	13	h. 下顎大白歯湾曲根管根尖付近の破折ファイルを除去した症例	19
d. マイクロエキスカによる根尖外のガッタパーチャの摘出	16	まとめ	20
e. 槌状根の根管拡大とMTAセメントによる根管充填	18		

1-2 歯根端切除術

歯根端切除術におけるマイクロスコープの使用	21	まとめ	33
歯根端切除術における切開方法	22		

1-3 再植と移植

a. 歯内療法後に予後不良な歯を再植した症例	34	e. 歯根未完成歯を移植した症例	40
b. 歯根破折した歯を再植した症例	36	f. 欠損部位に歯を移植した症例	40
c. 近遠心的に破折した歯を再植した症例	37	g. TADによるLOT後に移植した症例	41
d. 複雑に破折した歯を再植した症例	38	まとめ	41

第2章 歯列を育成するために



2-1 乳歯列期と混合歯列期の矯正治療の目的と治療時期

2-2 乳歯列期の矯正治療	47
---------------	----

2-3 混合歯列期の矯正治療

a. 反対咬合	48	c. 永久歯萌出余地の獲得	52
b. 萌出誘導法	51	d. 骨格的改善	68

2-4 まとめ

2-4 まとめ	78
---------	----

第3章 口腔機能を改善するために



3-1 永久歯列期の矯正治療

a. 上顎狭窄を伴うAngle I級症例	84	f. 先天性欠如歯を伴うAngle II級2類症例	109
b. 前歯部叢生を伴うAngle II級症例①	88	g. 上顎前歯部の右側偏位を伴うAngle III級症例	111
c. 前歯部叢生を伴うAngle II級症例②	92	h. 開咬を伴うAngle II級症例	116
d. 前歯部叢生を伴うAngle III級症例	96	まとめ	120
e. 上顎犬歯低位唇側転位を伴うAngle II級症例	100		

3-2 TADの全顎矯正における有効性

a. 上下顎前突症例にTADを応用した症例	121	e. 頬側に転位した上顎大白歯を口蓋側移動した症例	137
b. スピード矯正 (PAOO) にTADを応用した症例	125	f. TADにより上顎咬合平面を改善した症例	141
c. 片側上顎大白歯を遠心移動した症例	130	まとめ	143
d. 片側下顎大白歯を遠心移動した症例	133		

3-3 犬歯の矯正治療

a. 3 が埋伏している症例	144	d. 4 3 3 4 の排列位置が逆転している症例	154
b. 3 が埋伏し集合性歯牙腫および過剰歯が存在する症例	147	まとめ	158
c. 3 が 2 1 の唇側に萌出した症例	152		

第4章 歯周環境を整えるために



4-1 LOT

叢生の改善	161	アップライトによる歯周環境の改善	175
挺出による骨縁上付着組織の改善	167	まとめ	180

4-2 歯周治療と矯正治療

a. 歯のアップライト後に歯周再生療法を施した症例	182	d. 歯の挺出後に根面被覆を施した症例	190
b. 矯正治療により歯周組織が改善されたと思われる症例	183	e. 矯正治療後に根面被覆とLip Stabilization Techniqueを施した症例	193
c. 叢生治療後に根面被覆を施した症例	187	まとめ	199

4-3 歯周再生療法

a. 水平性骨欠損に対しMISTで対応した症例	204	e. 下顎の水平性骨欠損に対しリグロスを単独で用いたM-MISTの症例	213
b. 垂直性骨欠損に対しM-MISTにて対応した症例	209	f. 垂直性および水平性骨欠損に対しリフィットとエムドゲインゲルを用いたM-MISTの症例	215
骨移植材について	210	g. 角度の広い垂直性骨欠損に対しサイトランス グラニュールとエムドゲインゲルを用いたM-MISTの症例	216
c. 拡張型フラップおよび非吸収性骨移植材を用いた症例	211		
d. 上顎の水平性骨欠損に対しリグロスを単独で用いたM-MISTの症例	211		

h. セメント質剥離の垂直性骨欠損に対しDFDBAと リグロスを用いた拡張型フラップの症例	216	根面被覆術について	224
i. 前歯部に限局した骨欠損を伴う審美歯科症例	218	複数歯の歯肉退縮をTunnel Techniqueにて施術した症例	224
		まとめ	227

第5章 インプラントを永続させるために



229

5-1 リッジプリザベーションと抜歯即時埋入

231

リッジプリザベーション	231	まとめ	240
抜歯即時埋入	234	参考症例	241

5-2 インプラント治療と矯正治療

241

a. TADを固定源として設置し矯正治療を優先した症例	244	まとめ	256
b. インプラントを固定源として設置し咬合機能を 優先した症例	249		

5-3 ティッシュマネージメント

257

ハードティッシュマネージメント	257	まとめ	291
ソフトティッシュマネージメント	285		

5-4 インプラント治療後の変化(頭蓋顔面の成長)

294

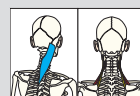
a. 前歯部のインプラント補綴後に インフラオクルージョンが出現した症例	295	まとめ	297
---	-----	-----	-----

5-5 インプラント周囲炎

298

a. 臼歯部インプラント周囲炎の再生療法症例	299	まとめ	303
b. 前歯部インプラント周囲炎の再生療法症例	299		

第6章 不定愁訴を発現させないために



307

6-1 舌房と反射

309

a. 下顎骨隆起を切除した症例	309
-----------------	-----

6-2 まとめ

315

索引	316
おわりに	319
著者略歴	320